

Contents

1. 松本潮霞先輩 リオオリンピック出場決定！！
2. 平成27年度総会報告
3. 会長就任にあたって（会長 志田典明）
4. 創部60周年祝賀会のお知らせ
5. リオオリンピック壮行会を開催
6. 世界ジュニア選手権に向けて
7. 新入部員紹介
8. 東インカレ・夏合宿案内
9. 競技会成績
10. OB/OGも頑張りました
11. アメリカ合宿を終えて
12. 伊豆でミニOB会を開催
13. 訃報



<新入部員の5人>

Topics!

松本潮霞先輩（H26卒） リオオリンピック出場決定！！

5月21日から23日まで山梨県で開催された全日本選手権の結果をもって、平成26年卒・松本潮霞先輩のリオオリンピック出場が決定しました。早稲田からオリンピックへの選手派遣は1960年ローマオリンピックの大沼賢治先輩・窪田登先輩以来、また、女子としては初の快挙となります。

松本先輩からオリンピックに向けて意気込みを頂戴しました。

このたび、リオオリンピックに日本代表として出場させていただくことになりました。創部60周年に勢いをつけることができ嬉しく思います。卒業後も練習環境を与えてくださったウエイトリフティング部、OB会、そして一緒に練習してくれた部員のみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。いただいたチャンスを大切に、早稲田代表として悔いのない戦いをします。応援よろしくお願いたします。

松本潮霞



<スナッチで日本新記録となる97kgに成功>

平成27年度総会報告

3月6日、染谷記念国際会館において、平成27年度総会が開催されました。

短い時間ではありましたが、各議案について、本会の目的を達成すべく活発な議論が交わされました。遅くなりましたが、以下に要旨をご報告いたします。ご出席いただいた先輩の皆さま、ありがとうございました。

【出席者】※敬称略

藤田和雄(S44) 谷川吉史(S45) 岡田正三(S45) 上野 稔(S45) 坂本知之(S45) 高橋 明(S46)
鶴飼信一(S46) 正木隆至(S48) 鷲田徹夫(S49) 岡田文男(S49) 志田典明(S51) 数野裕之(S59)
野中弘一(H01) 岡田純一(H02) 吉岡史生(H13) 平山邦明(H18) 松本潮霞(H26) 堀井勇也(H27)

【議事要旨】 ※会計資料は稲門ウエイトリフティングクラブWebサイトをご覧ください。

[議題1] 平成27年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件

役員より、平成27年度の活動及び収支決算、並びに監査結果について報告し、満場一致で承認されました。

- *「会費」は、計182万円の納入がありました。先輩皆さまのご理解とご協力に感謝いたします。
- * 田口薫先輩(S42)から10万円、谷川吉史先輩(S45)・石橋義久先輩(S51) から各3万円のご寄付を賜りました。
- * 樋沼博先輩(S52)から8千円、丸山航平先輩(H25)から5千円、S40年代卒OB懇親会参加者の皆さまから1万3千円を賜り、「部遠征等助成金」として「寄付」と合わせて計上させていただきました。
- *「インカレ・早慶戦観戦会員補助」は、試合サポート/来場観戦の会員に対し弁当と飲み物を提供させていただきました。
- *「地域会員懇親会援助費」は、S40年代卒OB懇親会と全日本社会人・女子選抜に伴う懇親会参加者に対し支出しました。
- *「通信費・消耗品費」は、会費未納の方へのクラブニュース(印刷物)郵送を年1回とさせていただき、節約を図りました。また、電子メール配信の参加者は120余名に達しました。経費節減へのご協力、誠にありがとうございます。
- *「会議費」は、部の新幹部との対話会(例年2月に開催)を期中に開催することができなかつたため、支出していません。
- *「慶弔費」は、平成43年卒・鈴木靖二先輩(前会長)のご逝去に伴い生花をお供えました。
- *特別会計「特別積立金(部遠征補助等)」より世界ジュニア選手権(ポーランド)・日韓中大会(韓国)・アジア選手権(タイ)への派遣選手に対する遠征補助を支出し、相当分を一般会計から積み立てました。
- *特別会計「特別積立金(60周年記念事業等)」は、予算どおり12万円を積み立てました。

[議題2] 新記念会堂(仮称)建設に係る支援依頼に関する件(報告)

稲門体育会から支援依頼がありました。詳しくは同封の『早稲田大学 新記念会堂(仮称)募金 ご支援のお願い』をご覧ください。

[議題3] 早稲田スポーツミュージアム開設に伴う記念資料収集に関する件(報告)

記念資料収集担当(野中幹事長)が取りまとめ中です。詳しくは同封資料の裏面をご覧ください。

なお、故林毅先輩(S34卒)より、第1回早慶ウエイトリフティング定期戦のチケットをお預かりしております。

[議題4] 創部60周年記念事業に関する件(報告)

記念祝賀会の開催日時・場所について、平成29年(2017年)2月4日(土)・早稲田キャンパス18号館 国際会議場会議室にて開催すること、並びに企画・予算編成等について役員・準備担当委員に一任していただくことを確認しました。

[議題5] 平成28年度活動計画及び収支予算に関する件

役員より、平成28年度の活動計画及び収支予算案について説明し、原案どおり承認されました。

- *「会費」は、182万円を目標に、1人でも多く納入していただけるよう協力の呼びかけを継続して行います。
- *「部への補助」、「新人勧誘費」は、これまでと同額の援助を行います。
- *「学生MVP賞品代」は、表彰対象者2名(男女1名ずつ)分を計上します。
- * 卒業生記念品(木製パール台座)に付ける個人名入りの金属プレートを5名分作成し計上します。
- * インカレ・早慶戦へのOB/OG参加促進のため、今年度も試合サポート/観戦会員に対し飲料等の提供を行います。
- * ミニOB会(5月伊豆)及び国体開催地(10月岩手)における懇親会参加者に対し援助を行う予定です。
- *「特別積立金(60周年記念事業等)」は12万円を積み立てた上で、同事業費として今年度全額支出予定です。
- *「特別積立金(部遠征補助等)」は、積み立てを継続します。

[議題6] 役員を選任に関する件

役員候補者全員の新任及び再任について、満場一致で承認されました。現在の役員は以下のとおりです。

- (1) 会長 志田典明(S51/新任) ☆ 【凡例】 ☆ : 幹事会推薦(1月16日開催)
- (2) 副会長 山内英雄(S42/再任) 中田正剛(S43/再任) 谷川吉史(S45/新任) ☆ 数野裕之(S59/再任)
- (3) 幹事長 野中弘一(H01/再任) (4) 会計幹事 蔵山潤哉(H21/再任)
- (5) 監事 高橋明(S46/新任) ☆ 正木隆至(S48/再任)

なお、多年にわたり監事をお願いしていた田口薫先輩(S42)がご都合により再任を辞退されました。在任中はご多忙にも関わらず当会運営にご尽力いただきました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

[その他] 部の指導体制について(報告)

部のスタッフとして、堀井勇也先輩(H27)のコーチ就任を確認しました。

会長就任にあたって



昭和51年卒の志田典明です。

創部60年を迎える年に鈴木靖二会長のあとを受け、稲門ウエイトリフティングクラブの会長に就くことに不思議なめぐり合わせ、ご縁を感じざるを得ません。関根吉郎初代会長をはじめ、加藤清忠・酒井延幸・鈴木靖二の歴代会長と共に発展してきた当会ですが、会の目的である「会員相互の親睦・交流と部の後援」を改めて肝に銘じながら、今後の活動推進にあたっていきたいと思ひます。

OB/OGで言えばその数が350名に近づき、また平成年代に卒業した会員が4割強を占めるようになりました。創部当初のOBと最近卒業したOB/OGとの年代が広がり、その橋渡しも今後の課題になっていくことと思ひます。

現役では、他大学との競争の中でトップではないものの上位にランクされるようになってきたり（H27年度インカレI部4位）、フル代表の一つ下のカテゴリーながら日の丸をつけて活躍する選手が毎年のように現れるようになってきています（H28年度全日本選手権出場男女合計16名、世界ジュニア選手権派遣2名）。そのような部への貢献の仕方も経済的な部分だけではなくてくるように感じています。

このような状況の中で、社会経験豊富な諸先輩と比べ負う責任の重さに自分の非力さを強く感じています。現在の課題を整理し、副会長・幹事長をはじめとする役員、各年代幹事の皆さまの英知をお借りしながら職を全うしていきたいと思ひます。今後とも当会運営について、会員の皆さまのご理解と多大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長 志田典明（S51卒）

創部60周年祝賀会のお知らせ

早稲田大学ウエイトリフティング部は本年、1956年（昭和31年）の創部認可から60周年を迎えることとなりました。つきましては、OB/OG・現役部員一堂に会し記念祝賀会を開催いたしますので、ぜひお集まりください。

日時： 2017年（平成29年）2月4日（土） 14時開宴（予定）

場所： 早稲田大学早稲田キャンパス18号館（旧安倍球場） 国際会議場会議室

【祝賀会開催に向けて】

(1) 会員名簿の整備

OB/OGの皆さまへ漏れなくご案内さしあげるため、当会会員名簿の整備にご協力をお願いいたします。追って準備担当委員から各年次の幹事または歴代主将・主務の皆さまへ連絡先確認の要領をお伝えしますので、お忙しいところ恐れ入りますがご協力いただきますようお願い申し上げます。

(2) 寄稿ならびに記念資料の収集

創部以来60年の歴史を振り返るため、準備担当委員から寄稿のお願いをさせていただくことがあります。皆さまが現役部員として活動されていた当時の部の様子など書き起こしていただければ、我が部にとって貴重な記録となります。

また、写真やビデオ、練習日誌や使用していた道具類なども祝賀会で展示できればと考えております。記念資料の収集に つきましては、同封資料の裏面に要領を掲載しておりますので、ご一読ください。

以上、祝賀会開催に向けて皆さまのご協力をお願いいたします。

幹事長 野中弘一（H01卒）

リオオリンピック壮行会を開催

代表選手発表から一週間後の6月4日、染谷記念国際会館にて松本潮霞先輩のリオオリンピック壮行会を開催しました。急な案内にもかかわらず、OB/OG34名と部員22名が参集。早稲田大学からオリンピック・パラリンピック事業推進担当理事の村岡功様、毎年部に援助を賜っている藤原哲郎様にもお越しいただき、松本選手を囲んで56年ぶりのオリンピック出場を祝うとともに、リオでの本番に向けて激励をおくりました。二次会にも大勢が参加し、源兵衛2階の大部屋・小部屋を占領して快拳の喜びを分かち合いました。



世界ジュニア選手権に向けて

6月25日から7月2日までジョージア（グルジア）で世界ジュニア選手権大会が開催されます。早稲田から日本代表として派遣される知念勇斗君と柏木麻希さんの遠征に向けた抱負をご紹介します。

◆ 柏木麻希（スポーツ科学部2年）

今回の世界ジュニア選手権大会の目標は、69kg級で優勝することです。

昨年ポーランドで行われた世界ジュニア選手権大会では、4位入賞することができましたが表彰台に立つことはできませんでした。

また、アジア選手権大会に出場することができずリオオリンピックの希望も早々に絶たれました。しかしそれにより私に残された夏の大きな目標は世界ジュニアひとつに絞られ、全てをここにかけようと決めました。

具体的には6本成功、自己記録の更新です。国際大会で6本成功したことがないので世界でも対等に戦っていけるよう安定した試技を行いたいです。

また、ジョージアという国に初めて行きますので、ウエイトリフティング以外にもたくさん勉強して帰ってきたいと思います。応援よろしくお願いします。

◆ 知念勇斗（スポーツ科学部2年）

今回の世界ジュニア選手権は、私のライバルでもある妹尾侑哉選手（東京国際大）も同じ56kg級に出場が決まり、大変緊張しています。

今年はジョージアという黒海とカスピ海の間位置する国で試合が行われます。国際大会に出場するのは初めてではないのですが、もうすでに興奮しています。というのも、やはり世界の同世代のトッププレイヤーが集い、その中に私自身も参加できるという大変貴重な体験ができるからです。去年は緊張し、あまり試合を楽しむことができませんでしたが、今年は自身の試合を楽しみつつ各国の選手との順位争いに負けないように一本ずつ大切に試技をしていきます。

本大会でより多くの経験を積んで、成長した状態で帰国したいと思います。そして、このような貴重な体験をさせていただけることに感謝の気持ちを持ち、応援してくださる方々へ良い報告ができるよう頑張ってきます。応援よろしくお願いします。

新入部員紹介

今年度は選手3名とトレーナー2名の計5名の新入部員を迎えました。将来の活躍が期待される新人たちに以下の質問を投げかけてみましたので、プロフィールと合わせてご覧ください。

- ①なぜ早稲田でウエイトリフティングをやろうと思った？
- ②試合で注目してほしいところは？
- ③早稲田に来て驚いたことは？
- ④今後の目標は？

Security

田中裕也

学部：スポーツ科学部

出身高校：宮崎県立小林秀峰高等学校

階級：69kg級

ベスト記録：S:108kg J:131kg

- ①高校の先輩が早稲田大学に在学しているため。世界の舞台で活躍する早稲田スポーツの中で自分を成長させるため。社会に貢献できるような有為な人材になるため。
- ②スタートを必ずとるところ。脚の強さ。勝負強さ。
- ③早稲田大学の各キャンパスの広さ、人の多さ。
- ④インカレで個人優勝を果たして、団体優勝につなげる。早稲田大学ウエイトリフティング部の一員としての自覚と誇りをもち、学生の模範となるよう努める。

吉田旭

学部：社会科学部

出身高校：岐阜県立中津高等学校

階級：56kg級

ベスト記録：S:82kg J:103kg

- ①勉強とウエイトリフティングの両立ができるからです。
- ②記録の伸びです。大学で活動を始めてから調子が良く、どんどん記録が伸びているので注目して欲しいです。
- ③毎日イベントでも行われているのかと思うくらい学生数が多いことです。
- ④全日本大学対抗戦に56kg級の選手として出場することです。目標達成のため、日々の努力の積み重ねを大切にしています。

Security

Security

新川百音

学部：スポーツ科学部

出身高校：山梨県立塩山高等学校

階級：48kg級

ベスト記録：S:70kg J:85kg

- ①全日本や世界で活躍されている先輩方のようになりたいと思い、早稲田大学でウエイトリフティングをやろうと思いました。
- ②力強さです。あまり綺麗なフォームではないので、力強い試技に注目していただきたいと思います。
- ③どの人も勉強、スポーツにとっても熱心なことです。
- ④全国大会で優勝し、国際大会に出場することです。また、インカレ選手としてチームに貢献することです。

新入部員紹介

小堀颯介

学部：スポーツ科学部

出身校：東京成徳大学高校

- ①単純に重量を挙げるという種目に興味を持ったのもそうですが、この部でトレーナーとして成長できたなら、他のスポーツのトレーナーとしても将来やっていけるはずだと思ったからです。
- ③まだ競技についてあまりよく理解できていませんが、部員は穏やかな方が多いため居心地はとても良いです。また、部員の競技に対する意識も高く、この部に入れて良かったと思います。
- ④トレーナーとしての知識が無いにも等しいので、まずは知識を付け、トレーナーとして信頼してもらえるよう努力していきます。

Security

濱口大生

学部：スポーツ科学部

出身高校：愛知県立刈谷高等学校

- ①ATになる、CSCSの資格を取るとための環境が整っているからです。また、トレーナーの先輩方のように勉強し、ケガの原因やその選手に足りない点や改善策等を考える習慣を身につければ、一人前のトレーナーに近づけると感じたからでもあります。
- ③全国大会や国際大会で入賞したという人がとても多いことです。
- ④選手から信頼され、選手が安心して練習に全力を注げるような環境を作れるトレーナーになることです。

Security

◇東インカレ

東日本大学対抗選手権が下記のとおり開催されます。男子は今年度前期の集大成となる試合です。首都圏在住の皆さまには、ぜひご来場いただき、ご声援くださいますようお願い申し上げます。

期日：平成27年7月2日（土）～3日（日）

会場：埼玉県上尾市 スポーツ総合センター（埼玉県上尾市東町3-1679）

交通：JR高崎線 上尾駅からタクシー10分

◇夏合宿

夏合宿は下記のとおり予定しています。先輩の皆さまにもご参加いただき、秋の競技シーズンに向けて強化に取り組む部員たちを激励いただけましたら幸いです。

期日：平成27年8月30日（火）～9月5日（月）

場所：清水ナショナルトレーニングセンター（静岡県静岡市清水区山切1487-1）

交通：JR東海道本線 清水駅からタクシー12分

競技会成績

2015年度 第36回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会

平成28年3月11日～13日 場所:上尾スポーツ総合センター

階級	選手名	学部	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M56kg級	知念勇斗	ス新2	54.48	98	1	128	2	226	2
M62kg級	森川芳樹	ス新3	61.74	102	2	140	1	242	1
M69kg級	田中裕也 (小林秀峰3年)	ス新1	68.96	103	7	120	9	223	8
M77kg級	永迫竜矢	ス新2	76.6	114	8	140	8	254	7
M105kg級	池田祐介	社新2	99.2	123	6	155	4	278	5
W48kg級	新川百音 (塩山3年)	ス新1	47.94	63	4	80	4	143	3
	安嶋千晶	ス新2	47.8	67	1	-	-	0	-
W69kg級	柏木麻希	ス新2	68.06	90 大会新	1	111 大会新	1	201 大会新	1



写真左：森川選手 C&Jerk：140kg
写真右：柏木選手
Snatch：90kg(大会新)

2016年度 第13回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会

2016年4月23日-24日 場所:上尾スポーツ総合センター

階級	選手名	学部	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M62kg級	千葉健介	社3	61.88	118	2	141	2	259	2
	森川芳樹	ス3	61.52	102	5	138	3	240	4
M69kg級	生頼永人	ス3	68.72	130	1	160 大会新	1	290 大会新	1
M+105kg級	武田健	ス4	109.45	120	4	180	2	300	4
W48kg級	安嶋千晶	ス2	48	64	4	85	1	149	1
	新川百音	ス1	46.8	65	1	80	2	145	2
W58kg級	内門沙綾	ス2	57.7	70	3	95	2	165	2
W69kg級	柏木麻希	ス2	69	85	1	105	1	190	1

競技会成績

2016年度 第62回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
 2016年度 第28回全日本女子学生ウエイトリフティング個人選手権大会
 2016年5月6日-8日 場所:羽曳野コロセアム

階級	選手名	学部	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M62kg級	千葉健介	社3	61.76	116	1	148	1	264	1
	森川芳樹	ス3	61.52	100	9	140	2	240	3
M69kg級	生頼永人	ス3	68.72	128	1	173 大学新	1	301 大会新	1
M105kg級	池田祐介	ス2	101.52	124	5	150	5	274	6
M+105kg級	武田健	ス4	108.72	130	6	171	4	301	4
W58kg級	内門沙綾	ス3	57.78	74	2	98	1	172	2
W63kg級	野本なつみ	ス4	62.44	69	4	87	4	156	4



写真左: 生頼選手 C&Jerk : 173kg(大学新)
 写真右: 千葉選手 Snatch : 116kg

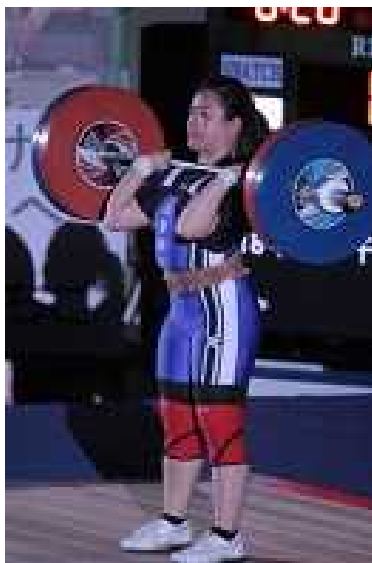
2016年度 第76回全日本ウエイトリフティング選手権大会
 2016年度 第30回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会
 2016年5月21日-23日 場所:山梨市民総合体育館

階級	選手名	学部	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M69kg級	生頼永人	ス3	68.8	130	4	172	1	302	4
W48kg級	安嶋千晶	ス2	47.76	64	6	89	3	153	4
	新川百音	ス1	16.84	63	7	78	6	141	7
W58kg級	内門沙綾	ス3	57.4	74	5	97	3	171	3
W63kg級	野本なつみ	ス4	62.28	70	9	90	11	160	10
W69kg級	柏木麻希	ス2	68.44	88	1	109	2	197	2

OB/OGも頑張りました

2016年度 第76回全日本ウエイトリフティング選手権大会
 2016年度 第30回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会
 2016年5月21日-23日 場所:山梨市民総合体育館

階級	選手名	学部	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M69kg級	大塚一樹	香川中央高校教員 (H.24卒)	68.26	123	5	155	5	278	5
M77kg級	安達貴弘	若狭東高校教員 (H.25卒)	76.40	130	6	160	7	290	6
	武井誠一郎	LSUS WL club (H.24卒)	76.80	140	3	0	-	-	-
M105kg級	菅野真央	トレミール (H.28卒)	102.14	135	8	170	9	305	9
W63kg級	松本潮霞	ALSOK (H.26卒)	62.28	97 日本新記録	1	114	1	211 日本タイ記録	1
	見附絵莉	大阪府警 (H.27卒)	61.12	90	2	108	2	198	2
	高岸冴佳	大学院社会科学部研究科 (H.27卒)	62.18	80	5	96	10	176	7
W69kg級	吉野千枝里	警視庁 (H.25卒)	68.74	87	3	111	1	198	1



写真左：吉野先輩 C&Jerk：111kg
 写真右：見附先輩 Snatch：90kg

今年度の全日本選手権では選手だけでなく、大会運営でも、早稲田大学ウエイトリフティング部の先輩が頑張りました。

岡部伸二先輩(H05)と桐原洋先輩(H08)のお二人は競技の進行アナウンスの合間に、選手の紹介や競技の状況をわかりやすく観客に説明されており、会場内からも説明が丁寧でわかりやすいと好評でした。



写真：岡部先輩、桐原先輩、武藤恭章先輩(H19)

アメリカ合宿を終えて

日本ウエイトリフティング協会の活動の一環で日本オリンピック委員会の補助事業として国際力強化を目的とした海外合宿が行われており、今年は早稲田から藤本雅大君と中山桃花さんが、アメリカ合衆国ルイジアナ州立シュリーブポート校での合宿に参加しました。参加したお二方の感想をご紹介します。

◆藤本雅大（スポーツ科学部4年）

今回の合宿で学んだことは、ウエイトリフティングについてだけではなく、ESLの授業、ホームステイの生活を通してアメリカの生活環境や、文化の違いなどを体感することができました。

1つは、ESLの授業についてです。義務教育で学んできた英語の授業とは全く違い、英語で話している言葉を聞き、自分から発言するというものでした。言語は、本を見て覚えるだけでは成長せず、言語を使ってコミュニケーションを取ることで成長するということを学びました。

2つ目は、ウエイトリフティング部についてです。LSUSのウエイトリフティング部は練習時間が決められておらず、個々で練習を行っていました。かといって部員がバラバラではなく、練習中は互いに声を掛け合って励まし合い練習を行っていました。そして最も異なると感じた点は、練習場を利用するのは大学生だけではないということです。LSUSの学生はもちろん、小学生くらいの子供からオリンピックに出場している人まで幅広い人が練習を行っていました。こういった交流が、大学生や特に子供たちに良い影響を与えると感じました。

3つ目は、日本とアメリカの文化の違いです。例えば、大学のキャンパス内で知らない人であってもすれ違うときに「Hello」と挨拶を交わしたり、先生と生徒との距離感が近く親密に話したり、人と人との関わりが強く感じられ、そこが一番の大きな違いだと感じました。他にも日常の生活から、さまざまな違いを体験することがありました。

そして最後に、合宿の参加に協力していただいた、日本ウエイトリフティング協会関係者、LSUS関係者の皆さまに心からお礼を申し上げます。

◆中山桃花（スポーツ科学部3年）

昨年に続き、2度目となるアメリカ研修合宿に参加させていただきました。

合宿においての目標としては、3週間のホームステイや現地の方々との交流を通して、生活や文化に触れ日本との違いを知ること、語学力の向上でした。

アメリカと日本では生活習慣、食生活、スポーツに対する考え方など様々な点で違い、交流1つでも文化の違いを実感することができました。日本では当たり前であることが通用しないなど、直接触れることで初めてわかることもありました。

また、LSUSのKyle先生やオリンピックに出場したKendrick選手のレクチャーも受けることができ、貴重な経験となりました。今回は怪我を抱えての参加だったので思うような練習はできませんでしたが、トレーニング以外でも去年と同様に多くのことを学ぶことができました。

今回の合宿で学んだことを今後に生かしていきたいです。最後に、この合宿において支えてくださった皆さまに感謝いたします。



後列中央：藤本雅大君
前列中央：中山桃花さん

伊豆でミニOB会を開催

今年も5月14日（土）に伊豆でミニOB会を開催いたしました。

場所は関東の方はもちろんですが、関西からも比較的楽に行ける伊豆畑毛温泉の大仙家（だいせんや）を選び、早めに日程をご連絡させていただいておりましたので、今回は19名の皆さまのご参加をいただきました。

このミニOB会は、我々昭和45年卒のOBを中心に3～4年上の先輩と3～4年下の後輩の皆さまに声をかけさせていただき、初年度は都内で食事会、翌年に宝塚、そして去年は熱海と、年に1回開催している親睦会です。今後も少しずつ、より年配のOB～より若手のOBと参加者を増やし、稲門ウエイトリフティングクラブの懇親会として継続していければと考えております。

今回のミニOB会に参加いただいた方は以下のとおりです。

[敬称略]

S42年卒：山内（英）・田口 S43年卒：鈴木（伊） S44年卒：内村・村岡、
S45年卒：上野・坂本・林・森（武）・谷川 S46年卒：高橋（明）・秋葉 S47年卒：岩永・薮田
S48年卒：水谷 S49年卒：鷲田 S51年卒：志田・石橋 H01年卒：野中

当日は各自16時までに参集いただき、17時30分から宴会。志田会長の挨拶・新記念会堂募金協力のお願いなどの話に続き、田口先輩の音頭で乾杯、3時間ほどの宴会をスタートしました。

卒業後初めてお会いする方もいて、お互い年を取ったことや近況報告などで話の花が咲き、いつもは箸の休まるどころを知らない私もつい話に夢中になり、宴会の終盤で慌てて料理を口に放り込みました。

宴の締めは野中幹事長の音頭で、来年2月4日創部60周年祝賀会での再会を約し、全員で元気よく三本で締めました。

これと言って目新しいものがあるわけではないのですが、ウエイトリフティングという共通のスポーツへの取り組みを通じて築いた絆は、年を経ても先輩・後輩を超えた何かを感じさせてくれます。今回ご参加いただけなかった皆さまも、来年はぜひご参加ください。

それから、健康に問題のない方は再度ウエイトリフティングを楽しんでみてはいかがでしょうか。現役時代とはまた一味も二味も違った楽しさと難しさが経験できますよ。現役部員も頑張っていますので、我々も山内英雄先輩を筆頭に、マスターズ大会で早稲田の風を吹かせたいものです。

谷川吉史（S45卒）



訃報

3月、林毅先輩（S34卒）が永眠されました。

永年にわたる早稲田大学ウエイトリフティング部ならびに当クラブ運営へのご尽力に対し心から感謝申し上げますとともにご冥福をお祈りし、謹んでお知らせいたします。